八重瀬町　あなたと議会をむすぶ

議会だより

第56号

具志頭小学校 6年　仲村まお さん「生まれ変わってもずっといっしょ」（読書感想画）

- 令和元年第7回・第8回臨時会・・・・・・・・・・・・・・・・・・2P～3P
- 令和元年第9回定例会・陳情他・・・・・・・・・・・・・・・・・3P～5P
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6P～18P
- 議会常任委員会所管事務調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・19P
- 一部事務組合報告他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20P

令和２年２月

◆発行：八重瀬町議会
◆編集：議会広報委員会

電話（098）998-2201
FAX（098）998-8256
E-mail gikai@town.yaese.lg.jp
http://www.town.yaese.okinawa.jp/

〒901-0492 沖縄県八重瀬町字東風平1188番地

令和元年第９回定例会

八重瀬町部制度設置へ！

令和２年４月から 総務・民生・経済建設の３部へ

八重瀬町議会は、10月10日に第7回臨時会、11月25日に第8回臨時会、12月11日から20日までの10日間の日程で第9回定例会を開催した。第7回臨時会では、令和元年度八重瀬町一般会計補正予算、要請決議2件、第8回臨時会では、工事変更請負契約の締結、指定管理者の指定について審議された。

第9回定例会では、令和元年度八重瀬町一般会計補正予算及び特別会計2件の補正予算、八重瀬町条例については制定2件及び一部改正7件、工事変更請負契約の締結、指定管理者の指定、八重瀬町道路線の廃止と認定、調停受諾、常任委員会の付託となった8件の陳情について審議された。

一般質問では、13名の議員が登壇した。

令和元年第7回臨時会

議案第54号

令和元年度八重瀬町一般会計補正予算（第6号）について

補正予算第5号は134億5446万6000円、補正額は0円、補正後予算は134億5446万6000円。（歳入歳出同額）。東風平郵便局移転補償費1億7900万円の繰越明許。

（全会一致可決）

決議第11号

2級河川報得川早期整備に関する要請決議

（あて先）
沖縄県議会議長

（全会一致採択）

決議第12号

水質保全対策事業整備に関する要請決議

（あて先）
沖縄県議会議長

（全会一致採択）

令和元年第8回臨時会

議案第55号

令和元年度八重瀬町一般会計補正予算（第7号）について

補正予算第6号は134億5446万6000円、補正額は200万円、補正後予算は134億5646万6000円。（歳入歳出同額）。

主にオリパラ基本推進調査費に伴う補正。

（全会一致可決）

議案第56号

伊覇38街区宅地造成工事（30－1）の変更請負契約の締結について

伊覇土地区画整理事業区域内の沖縄電力鉄塔廻りの宅地擁壁工事で、変更内容は「型枠工」「足場工」「作業土工」における作業員不足の影響による、工期の延伸。

契約相手方　東信開発
請負金額　2億1370万4000円。
履行期間　変更前、平成30年5月22日から令和元年11月29日まで。変更後、平成30年5月22日から令和2年2月14日まで。

（全会一致可決）

議案第57号

指定管理者の指定について

八重瀬町観光拠点施設及び八重瀬町観光・地域交流宿泊施設の指定管理者について、応募があった1団体に対する指定。

（反対討論）神谷信夫議員、神谷秀明議員
（賛成討論）上原勝彦議員、米増雄二議員、石原朝子議員、玉城義彦議員、本村繁議員、新垣正春議員

（賛8　反6　退1　賛成多数可決）

令和元年第9回定例会

【補正予算等】

議案第58号

令和元年度八重瀬町一般会計補正予算（第8号）について

補正予算第7号は134億5646万6000円、補正額は3億1300万円の増額、補正後予算は137億6946万6000円。（歳入歳出同額）。

主に民生費の社会福祉・児童福祉関連費で利用者見込み増に伴う補正。

国・県からの分担金・負担金9211万5000円の歳入減額に対し、土木費等の1918万5000円の減額、基金から7453万8000円繰入で対応。

（全会一致可決）

議案第59号

令和元年度八重瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

補正予算第2号は37億21

０５万７０００円、補正額は１億２０５３万５０００円の増額、補正後予算は38億４１５９万２０００円。（歳入歳出同額）。

主に利用者１人当たりの給付費増に伴う補正。高度医療が必要な心疾患者数増が主因。

（全会一致可決）

議案第60号

令和元年度八重瀬町集落排水事業特別会計補正予算（第２号）について

補正予算第１号は６４４７万円、補正額は43万４０００円の増、補正後予算は６４９０万４０００円。（歳入歳出同額）。

主に需用費・維持費の変更に伴う補正。

（全会一致可決）

【工事請負契約等】

議案第61号

港川遺跡公園整備工事（Ｒ１）の変更請負契約の締結について

園路広場工の駐車場、進入路のアスファルト舗装、排水路、伐採処分費の追加による請負代金と工期延伸の変更。

契約相手方、久建工業株式会社。当初請負金額、５８７４万円。変更請負金額、６１１６万円。履行期間、変更前、令和２年１月21日完了。変更後、令和２年２月21日完了。

（全会一致可決）

【町条例等】

議案第62号

八重瀬町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び県人事委員会による給与勧告並びに近市町の職員の給与改正を考慮した町職員の給与改正。

（全会一致可決）

議案第63号

八重瀬町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び県人事委員会による給与勧告並びに近市町の職員の給与改正を考慮した町職員の給与改正。

（全会一致可決）

議案第64号

八重瀬町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

令和元年９月議会で、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）の交付に伴う条例で全会一致で制定された条例の一部見直す必要が生じたための改正。

（全会一致可決）

議案第65号

八重瀬町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について

地域未来投資促進法（平成19年法律第40号）及び地域再生法（平成17年法律第24号）における施設に係る固定資産税の課税免除及び不均一課税の規定を関係条例において、所要の整備が必要なための改正。

（全会一致可決）

議案第66号

八重瀬町重度心身障害者（児）医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

八重瀬町重度心身障害者（児）医療助成の自動償還に伴い、町民の利便性を図るための改正。

（全会一致可決）

議案第67号

八重瀬町西部プラザ公園施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

ハーブ体験工房の使用料金を一つにまとめ公平性を保つこと、冷房使用料の他施設との同等設定するための改正。

（全会一致可決）

議案第68号

八重瀬町都市公園条例の一部を改正する条例について

供給開始された公園の追加、土地区画整理区域内の公園所在地を土地区画整理事業の仮換地番号に統一するための改正。

（全会一致可決）

議案第69号

八重瀬町部設置条例の制定について

町長の権限に属する事務を、総務部（財政・予算・税務等）、民生部（戸籍・住民基本台帳・社会福祉・保育所関係・国民健康保険等）、経済建設部（農林水産業務・商工業・観光・都市計画等）を設置し分掌させるための条例の制定。

（反対討論）神谷良仁議員、

令和元年 第７回・第８回臨時会及び第９回定例会　令和元年度補正予算一覧　（単：円）

議　　案	歳入歳出追加額	歳入歳出減額	歳入歳出の総額	決　議
一般会計補正予算（第6号）	－	－	13,454,466,000	全会一致可決
一般会計補正予算（第7号）	2,000,000		13,456,466,000	全会一致可決
一般会計補正予算（第8号）	313,000,000		13,769,466,000	全会一致可決
国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	120,535,000		3,841,592,000	全会一致可決
集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	434,000		649,070,000	全会一致可決

令和元年 第7回・第8回臨時会及び第9回定例会での主な議案の賛否の状況

種別	番号	事件名	結果	米増雄二	玉城義彦	石原朝子	砂川泰秀	金城隆雄	平良真也	神谷秀明	宮城勝也	神谷信夫	神谷清一	新垣正春	神谷良仁	本村繁	上原勝彦	神谷たか子	金城秀雄
議案	議案57	指定管理者の指定について（南の駅やえせ及びぷらっとやえせ）	可	○	○	○	×	×	×	×	○	×	退	○	×	○	○	○	－
議案	議案69	八重瀬町部設置条例の制定について	可	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	－

※その他の議案は全会一致で賛成であった。
可：可決　○：賛成　×：反対　**退**：退場　**欠**：欠席　－：議長は採決に加わらない。ただし可否同数の場合のみ表決権あり。

神谷信夫議員、平良真也議員（賛成討論）宮城勝也議員、玉城義彦議員、新垣正春議員（賛8 反7 賛成多数可決）

議案第70号
八重瀬町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の制定について

児童福祉法第6条3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を実施し、児童の健全育成を図るための施設の適正な管理運営に必要な事項の設定。
（全会一致可決）

【指定管理者の指定等】

議案第71号
指定管理者の指定について
（施設の名称）あらしろ児童クラブ
（指定管理者）社会福祉法人具志頭福祉会ぐしかみ児童クラブ
（指定管理者住所）八重瀬町字具志頭363番地
（指定期間）令和2年4月1日から令和7年3月31日
（全会一致可決）

【その他議案】

議案第72号
八重瀬町道路線の廃止について

伊覇土地区画整理事業にて整備された町道の延長変更による起点終点改正に伴う道路線の廃止。
（全会一致可決）

議案第73号
八重瀬町道路線の認定について

伊覇土地区画整理事業にて整備された町道の延長変更による起点終点改正に伴う道路線の認定。
（全会一致可決）

議案第74号
調停の受諾について

八重瀬町と加害者との交通事故による損害賠償請求事件に関する調停について、那覇簡易裁判所からの調停案についての受諾。加害者債務調停額は80万3270円。
（全会一致可決）

【陳情】

陳情第27号
日本政府に香港の「自由」と「民主主義」を守る行動を求める陳情
（提出元）幸福実現党南部後援会
（総務厚生常任委員会　資料配付）

陳情第28号
「辺野古促進決議」の撤回、「建白書」「県民投票」の尊重を求める決議
（提出元）島ぐるみ八重瀬の会
（総務厚生常任委員会　資料配付）

陳情第29号
令和2年度福祉施策及び予算の充実について（要請）
（提出元）沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会
（総務厚生常任委員会　採択）
（全会一致可決）

陳情第30号
「居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書採択」に関する陳情について
（提出元）沖縄県介護保険広域連合
（総務厚生常任委員会　採択）
（全会一致可決）

陳情第31号
適正飲酒の推進及び飲酒運転根絶に向けた議会宣言決議について（要請）
（提出元）糸満地区安全なまちづくり推進協議会
（全会一致可決）

陳情第32号
公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情書
（提出元）沖縄憲法25条を守るネットワーク
しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄
他1名
（経済産業文教常任委員会継続審議）

陳情第33号
「県民投票」の尊重を求める陳情
（提出元）島ぐるみ八重瀬の会
（総務厚生常任委員会　継続審議）

陳情第34号
「国連勧告撤回を求める全国自治議会への陳情書に関する決議」の送付について
（提出元）命どぅ宝！琉球の自己決定権の会
（総務厚生常任委員会　資料配付）

【意見書】

意見書第14号
「居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書」
（あて先）
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
沖縄及び北方対策担当大臣
（全会一致可決）

【決　議】

決議第12号
適正飲酒の推進及び飲酒運転根絶に向けた議会宣言決議
（全会一致可決）

適正飲酒の推進及び飲酒運転根絶に関する宣言決議

事件事故のない、安全で安心な社会の実現は、町民・県民の共通の願いである。

しかしながら、県下においては、飲酒に起因する事件・事故等、様々な問題が生じている。

特に、本年、県下では路上寝により3名の方が車両に轢過され死亡しており、八重瀬町内においても、過去に死亡事故が発生している。

また、多量飲酒による泥酔の結果、過失転倒による重傷事故、財布などの盗難や事件に巻き込まれるなどの被害が発生している。八重瀬町内では、これら泥酔者や路上寝による通報が多数寄せられており、この厳しい現状を早急に改善する必要がある。

飲酒運転については、飲酒運転が重大事故につながる大変悪質・危険で許されない行為であることを、あらゆる機会を通じて啓発しているものの、飲酒運転で検挙される者は、 ここ数年逆に増加している。

八重瀬町にあっては、町民の努力により、飲酒運転検挙の割合が他の地域と比べ低く、良好な状態にあることから、これを絶好の機会と捉え、飲酒運転防止のための施策を強力に推進し、根絶を図る必要がある。

よって、本町議会は、適正飲酒と飲酒運転の根絶を決意するとともに、安全で安心して暮らせる社会と青少年の健全育成を確立するため、本町議会をはじめ関係機関・団体、家庭において「多量飲酒を慎み、適正飲酒を心がける」「酒を飲んだら運転しない」「運転するなら酒を飲まない」「運転する人には酒を勧めない」などの運動を強力に実践することを誓い、 ここに宣言する。

以上、決議する。

令和元年１２月２０日

沖縄県八重瀬町議会

居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書

本町は、介護保険制度が創設された平成12年4月以来、高齢者が、住み慣れた地域において生涯を通して自分らしく健康で明るく、社会の一員としての役割を担い、生きがいを持って豊かに暮らしていくことができる介護保険事業の実現に向けて取組み着実に成果を上げてきた。

特に事業実施にあたっては、沖縄県介護保険広域連合を構成する29市町村の一員として、地理的条件、介護サービス提供基盤、社会資源、人的資源等、実情が異なる中、構成市町村の地域特性を考慮した上で中長期的な視点を持って、保険者である広域連合とともに一丸となって保険者機能の強化等に努めてきた。

しかしながら、国による制度整備と支援、業界挙げての努力にもかかわらず、沖縄県内においては、介護・福祉人材の確保は厳しく利用者への介護サービスの提供が十分にできていない状況である。

このような中、「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準」の一部改正（平成30年1月18日厚生労働省令改正、平成30年4月1日施行）において、居宅介護支援事業所における管理者の要件を主任介護支援専門員とし、経過措置期間として令和3年3月31日までの間と定められた。介護支援専門員が主任介護支援専門員になるための条件は、専任の介護支援専門員としての従事期間が5年以上の者が、主任介護支援専門員研修（70時間）を受けることとなっているが、経過措置期間が3年しかないため、管理者の要件を満たすことができず、事業所を廃止又は休止せざるを得ない状況が発生し、利用者に大きな混乱が生じる恐れがある。

居宅介護支援事業所は、介護が必要な高齢者が適切な介護サービスを利用できるように支援する重要な役割を担うと共に沖縄県内市町村の介護サービス基盤強化に大きく貢献している。高齢者が住み慣れた地域で引き続き安心して暮らしていくためには、当分の間、居宅介護支援事業所の管理者の要件に係る経過措置期間を延長する必要がある。

よって、政府におかれては、沖縄県のこのような状況を鑑み、下記事項について十分な措置を講じられるよう強く要請する。

記

1．居宅介護支援事業所の管理者要件の経過措置期間を最低でも6年以上（令和6年3月31日）まで延長すること。
2．介護支援専門員が容易に主任介護支援専門員研修を受講できるように環境整備を拡充すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和元年１２月２０日

沖縄県八重瀬町議会

あて先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

一般質問

12月17日～20日

一般質問は議員本人の原稿に基づいて掲載しています。

本村　繁　議員

害虫ガ防除対策について

関係機関と連携し被害の拡大を抑える

質問　沖縄県の農業基幹産業であるサトウキビ生産。そのサトウキビに食害を与える害虫ガによる食害が確認されている。八重瀬町のサトウキビ生産量は南部地区で上位である。よって、サトウキビ生産農家支援の為、害虫ガ防除は重視すべき、見解を伺う。

町長　害虫ガ「ツマジロクサヨドウ」については、サトウキビ及び他の作物への被害の拡大を懸念しているところである。今後については、関係機関と連携し被害の拡大を抑えていく必要があるものと考えている。

点滅信号機設置について

点滅信号設置を制限している

質問　宜次公民館前の旧県道82号線は日々交通量が右肩上がりである。最近、宜次有識者の会合で公民館隣接の交差点に、点滅信号機設置を行政に要請する事が必要との会話があった。点滅信号機設置について過去にも何度か質問したが、いまだに設置されていない。なぜか。

町長　宜次公民館前の点滅信号機設置について管轄がある。沖縄県警察から話を伺ったところ、沖縄県警察では点滅信号機の設置を制限していると回答をいただいている。警察側としては設置することで同時にデメリットも生まれる可能性があるとの話を伺っている。

宜次公民館前交差点

中高年層ひきこもり対策について

沖縄県ひきこもり専門支援センターの情報を伝え

質問　内閣府調査で半年以上にわたり家族以外の方とほとんど交流せず、自宅で40～60歳のひきこもり状態の人が全国に61万3千人いるとの推計値を発表。特に男性は、退職後に76・6％がひきこもりの状態である。最近はひきこもりが原因で殺人事件が発生している。ひきこもり支援センターが南風原町に存在するが情報交換したことがあるか。

町長　窓口や電話、訪問時に家族のひきこもりの相談があれば、沖縄県ひきこもり専門支援センターの情報を伝え相談へとつないでいる。

東風平球場の春季キャンプについて

これまでの春季キャンプの精査も行い総合的に判断

神谷 良仁　議 員

質問 琉球ブルーオーシャンズが、1月25日から3月24日まで東風平球場を使用する報道があった。再来年以降、東風平球場のキャンプ利用について伺う。

教育長 再来年以降の春季キャンプの誘致については、観光振興、または青少年の健全育成、そして持続可能な社会体育施設の維持に必要な財源である施設利用料も含め、これまでの春季キャンプの精査も行い、総合的に判断して検討する。

質問 韓国プロ野球チーム、あるいは日本のプロ野球や県外の社会人チームや大学野球チームが来た時の盛り上がりに差がないか。

スポーツ振興課長 日本のマスコミ等で報道される知名度がある選手が来るのと、報道が少ない韓国プロ野球チームには観客も少なく感じる。

質問 再来年、韓国と琉球ブルーオーシャンズの二方から、球場利用の打診があればどう対応するのか。

スポーツ振興課長 今回のブルーオーシャンズのキャンプを精査し、関係者の意見も聞きながら総合的に判断する。

意見 多くの方がキャンプを見に来るようなチーム、そして施設の充実を今後もお願いする。

プロ野球チームのキャンプで利用される東風平球場

庁舎免振装置について

4本とも不適合製品

質問 本庁舎の免振オイルダンパー4本に不正の可能性がある免振装置と国交省からの報道があり、同12月議会で取り上げた。その後の状況を伺う。

町長 平成31年2月6日、カヤバ株式会社から4本とも不適合製品であると報告があった。十分な告知はされていないが、去る10月22日から25日の間で取り換え工事を完了しており、来る12月19日に是正交換工事完了報告が届く予定になっている。そちらも合わせてホームページで周知する。

首里城火災に対する支援

復興チャリティー公演を開催予定

質問 首里城火災に対する支援については、募金箱が庁舎1階ロビーに設置されている。募金活動周知の一環にもなるチャリティーイベント等の実施もできないか。

町長 再建を願う町民からの要望で、11月13日から支援金募金箱を設置している。首里城火災支援に関するチャリティーイベントとしては、令和2年2月16日に首里城復興チャリティー公演を町中央公民館において町民俗芸能連絡協議会主催で開催予定である。

玉城 義彦　議員

文化財活用補助金の実績と経過は

令和２年度予算計上図る

質問 八重瀬町文化財活用補助金の開始からの実績と経過を伺う。

教育長 1件当たり3万円、年間3件の申請枠で、平成23年度から始め、平成29年度まで5件の申請・交付実績。平成30年度、令和元年度の予算計上はない。文化財の保存や継承への一助となることから、令和2年度の予算計上のため調整を図っている。

生涯学習文化課長 文化財の継承活動、道具の整備のため行ってきた。説明会等が少なかった等で利用度が足りなかった。民俗芸能連絡協議会にも要領等を説明し協力したい。

下水道整備計画は

広域化共同計画の策定に向け動いていく

質問 八重瀬町の下水道は、雄樋川と港川の2地区で実施、接続率は、平成30年度決算で42～46％の低率、財政負担の懸念材料。一方で整備されていないため、企業誘致ができず、雇用拡大の負の要因。観光開発にも水質汚染対策は重要で、生活及び産業排水の管理を計画的に進める必要がある。今後の下水道整備計画を伺う。

町長 「八重瀬町下水道基本計画」で、東風平地区を単独公共下水道、具志頭地区を農業集落排水事業として整備を計画、具体的なスケジュールはない。

質問 近隣市町の既存下水道への接続など、広域組合として計画はないか。

町長 協議を各関係機関と行ってきており「中部流域下水道への接続は困難」と判断、現在の下水道基本計画策定に至っている。

土木建設課長 1月に沖縄県で汚水処理事業連絡協議会の第1回調整会議を行った。令和2年2月の第1回で広域化共同計画の策定に向けて動き、令和4年度で策定していくよう動いている段階。

要望 ぜひ前向きに働きかけ、広域でやれるようリーダーシップを取ってほしい。

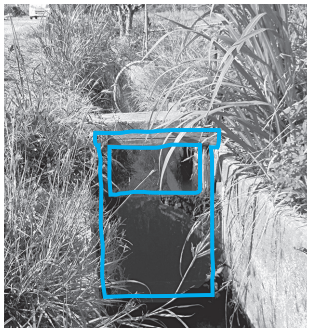
農業用水整備計画は

糸満八重瀬地域事業構想の実現に向け取り組む

質問 東風平地域は、過去に地下タンクの設置がされたが、安定した農業用水の供給ができない。農業振興の課題だが、農業用水整備の現状と計画を伺う。

町長 灌漑施設が整備されている地域は、沖縄本島南部地区（地下ダム）、具志頭地区、宜次地区、後原地区が整備。その他の地域は、河川及び排水路からの取水、地下タンク、個々の井戸を利用。整備計画は、沖縄本島南部地域の地区変更、宜次畑かん施設の再整備、農業基盤整備促進事業による畑かん施設を計画。沖縄総合事務局で「糸満八重瀬地域事業構想」があり、農業用水確保について再編事業として、調査等を行っている。事業構想の実現に向け積極的に取り組む。

個人設置の農業用水用井戸と汲上げポンプ



取水目的に生活排水をせき止めた農地の側溝

その他の質問

・令和2年度の主な事業計画について

台風農業支援は台風対策を

平良 真也　議 員

質問 近年は台風の自然災害や気候変動による大雨などの災害がある。八重瀬町も県内唯一の農業生産の盛んな地域である。予測のつかない災害があった場合、町として対応支援の取組の考えはあるのか伺う。

町長 近年の気候変動等による災害の増加については大変危惧しており、災害により農家が被災された場合には、国や県の支援策も受けながら、町としても想定を超える自然災害へ備えるべく、農業共済及び収入保険への加入の促進を図っていきたいと思う。

農林水産課長 想定外の自然災害が発生した場合、農業のみならず、その他の被害も予想され、我々担当課としては、国、県の支援策も受けながら、JA等、関係機関と連携して、出来得る限り支援していきたいと考えている。

ふるさと納税に特産品導入を

質問 町の特産品であるピーマン・インゲンなど返礼品として取り入れ出来ないか伺う。

町長 ご提案のインゲン・ピーマンなど返礼品として取入れることは可能である。他にも対応可能な農産物があれば、随時追加していきたいと思う。また、単品の商品構成に加え、マンゴーやパッションフルーツなどを組み合わせて、季節ごとにお届けできる仕組みが作れないか等も調整している。

サヤインゲン

質問 平成30年度に受け入れた寄付件数と金額について、県内の順位を伺う。

町長 寄付件数で9730件、寄付金額は2億131万9500円で、2億円の大台を超えており、貴重な財源になっている。県内での順位については、金額では宮古島市の2億6400万に続いて二番目ですが、寄付件数では宮古島市の3・3倍の寄付があり、件数でみると県内一位である。今後も寄付額を伸ばしていける様、努力していく。

ピーマン

階段の設置早めの対策を

質問 南の駅やえせにおいて、イベントがある場合、具志頭小学校のグラウンドを臨時駐車場として使用しているが、直接グラウンドから上り下り出来る階段を造れないか伺う。

観光商工課長 旧具志頭中学校体育館再利用調査ということで、一番最初にやるべきことが進入路になってくる。今、南の駅やえせと連動した施設にできないかということで、階段、進入路についても調査の中で積極的に検討していきたいと考えている。

金城 隆雄　議員

八重瀬町の基金について

質問 ふるさと創生基金は目的基金であり、目的以外に処分することはできない。しかし、繰替運用することは出来る。執行部は、行き当たりばったりで運用しているとの疑問が生じる。そのため、基金運用に関する規則等を定め、それに沿った運用が必要であると思う。その考えはないか伺う。

財政課長 ご指摘のとおり、曖昧な部分が多々ある。次年度の繰替え運用については、新しい規則、方針等に沿って運用できるような形で進めていく。

質問 「ふるさと創生基金」は、9月議会でも町長は「謝花昇資料館建設の基金だ」と明言した。人が変われば考え方も変わることの不安もあり、この際、「ふるさと創生基金」を「謝花昇資料館建設基金」と名称を改める考えはないか?また、基金の一部は旧具志頭村分も含まれており、それを活用して「汗水節啓発基金」(仮称)を検討し、汗水節の啓発事業に使う案について見解を伺う。

町長 「ふるさと創生基金」は、町民会館と合わせた資料館、複合施設の基金だということは「謝花昇偲ぶ会」の皆様との認識も一つにしている。そういう意味で名称も「ふるさと創生基金」のままでも目的から外されることはない。

要望 町長が次の町長にバトンタッチする場合も、その気持ちを伝えていただきたい。「人が変わっても行政は変わらない」そういう引継ぎをしていただきたい。

本町の財政状況について

質問 実質公債費比率は、18%以上になると地方債を発行するときに、国の許可が必要だ。また、25%以上になると単独事業のための債権を発行することが出来ない。本町は10%という健全なラインだ。該当する補助事業等々で起債が必要なら、ライン内での起債で事業を実施すべきだ。その考えはないか伺う。

財政課長 ご指摘のとおり、まだ、余裕はある状態である。だが、今後の多くの事業や近い将来の少子化、人口減少を鑑みて備えていかなければならないと考えている。

質問 財政力指数の0・42は低い数値だ、それを引き上げるためには、公共施設の消耗品の削減や省エネ対策、コンサル任せの計画ではなく、職員が知恵を出し合って自前で計画を作るとか、土地計画の用途地域の見直しによる企業誘致や商業施設、サービス業、飲食業を増やし、税収を上げる必要がある。また、経常収支比率が87・5%は問題だ。適正数値の70~80%より7・5ポイントも高い。原因は、人件費、扶助費、公債費だ。厳しい数値にも関わらず令和2年度から部長制を実施して人件費をアップするのは非常に残念だ。厳しい厳しいといって他の予算をカットしている状況と比較して矛盾しないか?

町長 部長制の実施については、人件費が膨らむと批判されるから、人件費が膨らまないよう指示を出した。ただ、課の統廃合はやろうと思う。課の数を少なくしたら、課長の数が減るので、示した人件費の分は削減できるのではと思う。ご理解願いたい。

意見 これまで、財政が厳しい厳しいと他の予算をカットしておきながら、この人件費増を理解してくれと、そういう矛盾することが全く理解できない。

平成30年度　八重瀬町の財政状況

●赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率

八重瀬町	実質赤字比率 %	連結実質赤字比率 %	実質公債費比率 %	将来負担比率 %
数値	ー	ー	10.0	61.6
早期健全化基準	14.11	19.11	25.0	350.0

※「ー」の日表記は赤字額等がない。
早期健全化基準はその数値に達した場合は、財政健全化計画を定めなければならない。

●経常収支比率

八重瀬町	経常収支比率 %	人件費 %	扶助費 %	公債費 %
数値	87.5	22.2	13.0	20.3

※ 経常収支比率…経常一般財源に占める人件費、扶助費、公債費の割合のこと　70~80%が適正水準

その他の質問

・未買収用地の買い上げについて

港川フィッシャー遺跡のガイダンス施設の見合わせはなぜ

担当課だけの判断を、何とか直したい

神谷 信夫　議 員

質問 検討委員会には専門のコンサル会社が入り、細かく計画されたと聞いている。その際、集客見込み数と維持管理の経費等の計画もあったと思う。その中身を検討委員会で議論し、どのような結論がでたのか伺う。

生涯学習文化課長 コンサルと事務局で出したのが約13，000名、これは年間の計画です。それを見込みまして、その見込んだ集客数から入場料を計算して、管理人を2人置いた場合は、年間約2，000万円かかるような計画を検討委員会とコンサルタントの方で基本設計という形で作成して、町の三役会議に報告して、いま現在に至っている。

質問 町長はこのガイダンスを造らない一つとして、集客数が少なく、維持管理が見込めないとおっしゃいましたけれども、いまの計画で集客数を増やして、維持管理を賄えると思いますが、町長はどのような見込みを持っているか伺う。

町長 そこにガイダンス施設を造ったからといって、13，000人見込まれるかと言うと、そこはなかなか厳しいんではないかと思いを持っている。今回様子を見ようということで見合わせた。一括交付金が付いていましたから、造ろうと思えば造れないことはない。それよりも箱物は造った後の維持管理の問題ですから、そこを重視して今回少し様子を見てみようということになった。

質問 このガイダンス施設を検討委員会で見合わせることをいつ頃説明し、その時にどういう議論が出て、どういう結論に達したか伺う。

生涯学習文化課長 確認した結果、当然、基本設計検討委員会では、そういったガイダンス施設の政策ということで仕上げているので、その成果を町の内部で検討した結果、先ほどの理由等で厳しいと報告して、それは町の判断だという事で。検討委員会としては、造った方が理想ですと報告は出ている。

質問 今年の3月の定例議会の答弁で町長はこう言っている「私が就任してすぐフィッシャー遺跡を見に行ったんです。正直な感想として、ここに修学旅行生を大勢連れて来れるかなと思いました」その真意をお聞きする。

港川フィッシャー遺跡

町長 特に、私になってからは担当課だけでの判断はまずいですと。他の関連する課としっかり打ち合わせをしながらやらないと、そこは問題が後になって、途中で問題が出てきますと、そういう状況は何とか直していこうと思っている。今の私の発言で影響を与えたことはないと思っている。

質問 町長がこういう態度だったんです。「ここに人はこないよ」ということを言うものだから、就任して、そこに行ってそう思ったという事を確認しましたけど、これは間違っていたんじゃないか、撤回はできないか伺う。

町長 自分が正直に思ったことを撤回するのは、これはちょっと無理かなと思う。それに関しては、多くの合議をやって、方向が示されれば、それは私の意見と違っていようが進みます。

その他の質問

・社会保障制度の拡充について

神谷 たか子　議 員

道路補修整備・カーブミラー設置について

経過観察しながら対応・カーブミラー設置に向けて検討

質問 当銘45番地の前通り現在道路陥没している状態である。補修整備が出来ないか伺う。

町長 各地区の集落内には同様な状況道路が数多くある。随時対応しているが、通行等が危ぶまえる箇所から補修を行っている現状。経過観察をしながら対応する。

質問 旧西河バス停前、当銘部落内から県道134号線に進入する危険な道路がある。区民からの要望でカーブミラー設置が出来ないか伺う。

町長 当該交差点状況を確認したところ、車両の見通しが悪く、カーブミラー設置必要性があることを確認。設置に向けて検討する。

旧西河バス停前カーブミラー設置

県道134号線に進入する危険な道路。見通しが悪い。カーブミラー設置必要性がある。

地域の子どもの芸術活動支援について

どのような活用ができるか検討

質問 子どもたちが地域で文化や芸術に親しめる場所をつくろうと文化庁は来年度各地に「地域文化倶楽部（仮称）」を創設する方針である。学校での文化系の部活動に代わる受け皿として公民館などを利用し地域の文化拠点を育て子どもたちの参加を促す。来年度は24ヶ所程度先行実施、国は人材確保など支援。将来の全国展開を目指している。東風平中学校は総合授業の中で沖縄の伝統芸能を取り組んでいる。この事業に公募し町内の幼稚園・小学校・中学校で取り組み出来ないか伺う。

教育長 本事業は文化庁によると「児童生徒が身近な地域で多様な文化芸術活動に親しむ機会を充実させる」目標とした事業である。国や県から案内公文等は来てない。案内があり次第どのような活用ができるか検討していきたい。

質問 地域の子どもの芸術活動へということで、文化庁が来年の春に24ヶ所程度公募。予算1億7，000万円計上。

生涯学習課長 地域文化倶楽部（仮称）令和2年度文化庁で進めている事業である。

子育て支援について保育士確保するために国の基準を下げる

保育士確保のため保育士試験対策講座

質問 現在待機児童は何名。町内認可外保育園いくつ。認可外保育園県の立ち入り調査報告を伺う。

児童家庭課長 0歳103名・2歳53名・3歳31名・1歳・13名・4歳2名合計202名。令和元年12月1日時点。

質問 保育士不足で受け入れない園があるのか。それとも保育士は足りているけど待機児童なのか伺う。

児童家庭課長 保育士不足で受け入れてもらえない全般状況。

質問 保育士確保するためには国の基準をもう少し下げることは出来ないか伺う。

児童家庭課長 難しい問題である。保育士確保の保育士試験対策講座を開催している。町内認可外保育園は5施設。認可外保育園立ち入り調査報告は調理室区分け、避難訓練実施記録簿整備等、有資格者配置基準時間帯、調理室内事務用品等保管棚転倒防止対応、デイリープログラム掲示などが指摘されている。

質問 立ち入り調査でクリアしている園はあるか伺う。

児童家庭課長 5施設とも同じ。指摘を受けた箇所については一ヶ月以内修繕。修繕計画を提出することになっている。すべてがクリア施設はない。

質問 認可外保育園でもきちんとされている園もある。立ち入り調査で検査クリアしている認可外保育園に対し法人保育園にもっていく考えはないか伺う。

児童家庭課長 事業者が希望すれば案内をしていきたい。法人保育園は公募をかけて計画に基づいて設置する。

質問 認可外保育園の支援とし、献立表認可保育園と同じような献立表提供出来ないか伺う。

児童家庭課長 確認してできる方向で検討していきたい。

神谷 秀明　議 員

具志頭浜の復旧は

南の駅を核とした観光の考えで進める

質問 具志頭浜は復帰前の海洋博覧会ごろまで珊瑚の豊かな砂浜であったと聞く、今、死滅珊瑚が剥き出し僅かな浜辺へ迫り，海に近寄りにくい。回復はできるか伺う。

企画調整課長 八重瀬町観光拠点周辺活用基本構想の中においては、具志頭浜という具体的な名称ではなくて、玻名城の郷整備事業ゾーンの中で、具体的に浜をどういう形で復旧するとかの取り決め等、方針は示していない。その観点が抜けていたかもしれない。今後、町長が先ほど答弁したように南の駅を核としたこの辺一帯の観光の考えと併せて研究を進めていく。

後原地区の開発

①県と事前協議を進めていく ②企業誘致の計画はない

質問 字後原地区は、土地改良がおこなわれていない地域が多い、次のことを伺う。①ソージ原地区の農地転用はできるか。②内陸型企業団地の誘致はできないか。

農林水産課長 ①ソージ原地区については、農業振興地域整備計画の全体見直しの中に農用地区域からの除外する区域に、この当該地域を含めて、これから県と事前協議を進めていくことになっている。②企業誘致の計画はない。

道路舗装と排水路の整備

令和6年度の事業採択に向けて取り組む

質問 都市計画マスタープランの地域別構想における東風平東部、東風平南部、及び東風平西部地域は、土地改良事業が完了、しかし道路の舗装、排水路の未整備がある。今後の整備計画を伺う。

町長 農業基盤整備促進事業にて整備する計画で、令和6年度の事業採択に向け取り組んでいく。

土木建設課長 要請がある高良の90メートル、東風平運動公園南側は単独事業で計画したい。

西部プラザ公園

野外舞台は活用状況で検討

質問 西部プラザ公園は、次のことを伺う。①今後の整備計画。②大型遊具の設置は早めにできないか。③グランドゴルフ場を観覧場とした屋外舞台の設置はできないか。

町長 ①令和2年度以降にパークゴルフ場の整備、子供広場の設計、駐車場及び遠路の整備。②地域住民の要請に応える。③将来的に公園の活用状況で検討。

糸満市への農道建設要請

糸満市と協議は可能

質問 字小城の雨水は、糸満市字座波1870－1の裏がわ河川に流れ込む。糸満市では、河川整備と道路併設の計画があったが事情があり道路整備を中断した。道路要請はできないか伺う。

町長 糸満市の担当課と協議は可能。

その他の質問

質問①：庁舎ロビー展示模型に役所通りより友寄方向への道路がある。伺う、これは実現できるのか。

町長：町の将来像を見据えたうえで検討。

質問②：字小城旧公民館では、つぎのことを伺う。①解体撤去費用の助成は。②アスベスト処理費用の助成は。

町長：①事業メニューはない②社会資本整備総合交付金事業がある。

神谷 清一　議員

建設場所の決定は非民主的だ

住民説明会等で情報共有する

ごみ焼却施設処分場が計画されている地域

質問 具志頭畜産を撤去させて、その跡地に南部地域のごみ焼却施設と最終処分場を建設するために住民説明会が開かれたが参加者は何名か。

町長 住民説明会には、9月24日に字港川で29名、25日に長毛団地で14名、26日に字具志頭で26名、27日に字長毛で11名が参加した。11月12日には、ごみ処理施設の「那覇・南風原クリーンセンター」と最終処分場の「美らグリーンセンター南城」の見学会に26名が参加した。11月28日の町全体の住民説明会には40名が参加した。

質問 私は、町全体の説明会に参加したが、建設場所の決定の仕方が非民主的であるとの意見や、環境問題への懸念の声が参加者からでた。住民の合意形成がなければ建設は困難であると思うが、どのように合意形成を図っていくか。

町長 今後は環境影響評価業務に伴う住民説明会や令和2年度から予定している新炉建設の基本計画、基本設計の業務を進める中で地域との情報共有等を行い、南部広域行政組合と連携を図り、地域住民の合意形成に務める。

質問 具志頭畜産の面積は2万7500坪であるが、焼却施設の面積は約1万坪である。残りの1万7千坪は最終処分場で使用するのか。地主の面積及び字毎の地権者数はどうなっているか。

町長 町有地の面積は約1040坪、字具志頭の地権者は16名で約1万990坪、字港川の地権者は4名で約1819坪、町外が5名で約3450坪、関係企業1社で約8800坪、その他に4名で約2130坪となっている。

多面的機能支払交付金制度の実績は

排水路の維持管理や地域資源の保全が目的

質問 多面的機能支払交付金制度は、地域の共同活動に係る支援を行い地域資源の適切な保全管理を推進するとしているが、この制度を活用している地域は何カ所あるか。

町長 平成30年度の実績で後原・新城地域は、活動参加が延べ696人、友寄地域は延べ1070人、安里・与座・仲座地域は延べ1184人である。活動状況は、定期的に農道・排水路の維持管理を行い、地域の良好な景観の形成や農業生産活動の活性化、豊年祭などの行事にも活用している。平成30年度の交付金は後原・新城地域で194万円、友寄地域で170万円、安里・与座・仲座地域で299万円である。

要望 排水路に土砂がたまり排水の機能を果たしていない箇所があるが、町はきちんと調査をして維持管理をしてほしい。農家に対しても指導を強化していただきたい。

寄添った子育て支援を

子育て世代包括支援センターを令和３年度に設置を進める

米増 雄二　議 員

質問 本町は、これまで、安心して子育てができるよう様々な事業に取り組んでいる。今回は特に配慮が必要な子どもと保護者に対する支援状況を伺う。

①妊娠、出産後から就学前までの支援体制と家庭において、子育てをしている保護者と子供への（保健、福祉、教育）支援状況を伺う。

町長 保健師や助産師の訪問・相談に加え、今年度より産前産後サポート事業を実施、保護者へ寄添えるように母子保健事業を展開している。特に配慮が必要と思われる方には、児童家庭課の臨床心理士や家庭児童相談員へ繋げたり、社会福祉課の障害児福祉サービスを保護者へ情報提供している。今後、子育て世代包括支援センターを令和３年度の設置へ次年度より準備をすすめる。支援センターを設置し個々の対象者のニーズに沿った細やかな支援が出来るよう関係課、保育園等連携を強化していく。

質問 ②支援してきた子供たちの成長調査をしてきたか伺う。

町長 成長調査はしていないが、関係全課、学校、園、保健師、相談支援員と必要事に情報共有している。

意見 各支援の窓口が別々で、たらい回しにされた感があり、各窓口で同じことを言うことが無いように連携し寄り添った対応を願う。

特別支援事業の充実を

質問 保育事業にて待機児童の解消や、特別支援保育や要保護児童受入れ、様々な課題があると考える。

①特別支援事業は、保育園にとって赤字事業であると指摘がある。事業内容、実績を伺う。

町長 特別保育支援審査委員会において決定された児童に対し、集団保育の中で社会性や健やかな成長発達を促進する保育を実施している。平成30年度実績、審査会判定人数29人加配配置児童24人、受入れ、10施設、加配保育士18人。

再質問 現在の加配保育士の補助金額と町、保育士の平均年収を伺う。

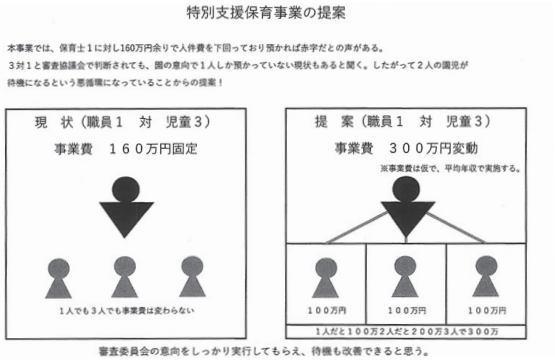
児童家庭課長 補助金は１６４万４千円。加配に関わった保育士平均年収は30年度２０６万１千円。

提案 実補助額と平均年収を見てもやはり、厳しいと感じる。審査会からの加配数（子３対保１）を園の見解（子１対保１）での要請で、３人預かれる所１人預かりになったとの事を聞く。そのことを聞いても厳しい事業だと思う。審査にて決定された人数を担ってもらえるためにも、補助額を平均年収まで上げて図のように提案したい。

質問 ②要保護児童緊急受入れで本年度中に「ぴっぴ」で事業を検討との事だったが、進捗状況は。

町長 子ども子育て支援事業補助を活用し実施に向け、隣接する土地借用し園庭のような活用を次年度以降計画を考える。

提案 予算等が厳しい中ではあるが、緊急時受入れについて、町内法人園５つに絞り、保育士１人の人件費を多少補助をし、緊急な場合には漏らすことなく受入れをしてもらうとの提案する。



その他の質問

・南の駅　やえせ　店舗チャレンジ店舗受入れについて

保育事業の方針、基準を示し、町がイニシアティブを

八重瀬モデル的な事業展開を進めていければ

宮城 勝也　議員

質問 本町では、待機児童解消するため、定員数から120％未満の弾力化によって受入園児の増員を図っており、各保育園はその分の保育士数、面積等の基準も満たされている。そもそもの基本となる定員数を増やした上で弾力化を図れば、さらなる増員となり、待機児童の解消につながるのではないか。

児童家庭課長 現状、弾力化によって増員を図っているが、保育士不足もあり64名しか受け入れられていない。継続して3年間定員120％を超えた場合、定員調整があり、それによって増員すると算定によって保育給付費が縮減されるため、園の運営への影響が懸念されることもあるため、弾力化を実施している。

質問 保育無償化により給食費が新たに発生する逆転現象が起きているのか。

児童家庭課長 各園で設定した給食費に対し、主食費で従来の500円から最大1千500円まで引き上げた園が多数ある。今後、見合った給食が提供されているか実態調査を行い、給食費の改定や助言、対応していきたい。

質問 町は保育事業の委託元として、しっかりイニシアティブを取り方針や基準を示し、各園と向き合い、調整や指導を行っていくべきだと考えるが。

町長 次年度以降、保育園の新設・分園の設置を計画している。保育のあり方など検討する余地があると思う。互いの信頼関係の中で八重瀬モデル的な事業展開で進めていければと思っている。

白川小学校のスクールバス

スクールバスの安全運行を

令和３年度に１台増車を計画

質問 白川小では教室増設が計画されている。児童数増加に対するスクールバス運行、増車について、どのように考えているか。

学校教育課長 現在6台運行している。下校バスに伊覇・屋宜原方面に集中している。令和3年度に1台増車する計画を進めている。

質問 学童クラブを利用する子ども達が集中する状況があるが、クラブによる送迎はないのか。

児童家庭課長 学童クラブの事業の範囲で送迎を行っている。

具志頭運動公園の整備計画は

Ｊ１基準、町民も親しめる施設に

質問 具志頭運動公園のサッカー場整備計画は。

町長 「具志頭地区観光スポーツ活性化基本計画」をベースに、Ｊ１ライセンス取得要件にあたる設置基準を含め、町民がスポーツに親しみ健康維持が図れる施設として計画を図っていく。

都市整備課長 一括交付金の活用を計画し、令和4年4月の供用開始を考えている。

質問 ＦＣ琉球を応援する情報掲示板を設置できないか。

財政課長 町民ホール活用は支障ないと思うので、検討していきたい。

その他の質問

・町民の声とその回答を、掲示板等で公開を

南の駅 水産物の取り扱いを

調査、検討していく

新垣 正春　議員

質問 「南の駅やえせ」の活性化について伺うが、同施設で港川漁港から揚がる水産物を取り扱う方法、考えはないか。

町長 「南の駅やえせ」の設置目的を達成するためには、さまざまな事業を展開する必要があり、農業や漁業・商工業などの生産分野を活用する必要があると考えている。中でも水産業を取り入れた取り組みができていないので、今後は関係部署や港川漁業協同組合と調整して、水産物の取り扱いの可能性と方法を調査・検討していきたいと考えている。

質問 トビウオプロジェクトの現状は。

観光商工課長 平成29年度からトビウオで町の活性化を図ろうと、特産品の開発も含めて、うちの課で検討しながら進めてきた。最初、協議会という形で進めてきたが今は組合ができている。販路のことから進めてきたが、漁獲量が全然なくて完全にストップしている。今後は関係部署と連携して進めていきたい。

質問 トビウオ漁の先進地、例えば屋久島などの調査はおこなっているか。

観光商工課長 これまでやってきていない。これから先進地の調査も視野に入れながら調査、検討していきたい。

魚介類を取り扱って、店舗の充実が期待される「南の駅やえせ」店内

民俗芸能公演、なぜ中止に

出演団体との調整不足

質問 同施設で予定されていた民俗芸能公演が中止になった。当初予算に経費が計上されながら、なぜ実施できなかったのか。

町長 これまで町民俗芸能連絡協議会と調整を進め、11月に民俗芸能公演を開催する予定だったが、調整不足のため、このままだと出演団体にも迷惑がかかると判断し今回は見送ることとなった。

観光商工課長 中止になったことは本当に申し訳ないと思っている。実際に演じる方々と私たちの考えがかなりずれていて、演じ手の安全性が確保できないことや一括交付金が活用できないことなどで中止という形となった。

質問 次年度はどういう考えを持っているか。

観光商工課長 駐車台数とかさまざまなことを考え、規模を縮小する方向で動いている。予算面も検討しながら今後の方向性を考えていきたい。

その他の質問

- 無形民俗文化財の保存継承について
- 会計年度任用職員について

ゴミ処理施設及び最終処分場誘致について

誘致で悪臭問題の行政課題を解決する。

上原 勝彦　議 員

質問 住民説明会で反対、賛成の立場からどのような質問が出たか伺う。

町長 処理施設誘致に対し位置決定まで早すぎる。処理施設からの大気、悪臭、騒音への不安、地震、津波等、位置選定や周辺環境への懸念等の意見があった。賛成意見として、長年悩まされてきた悪臭問題を解決できるのであれば賛成であり、地域振興や施設周辺の今後の土地利用計画にも期待が出来るとの意見があった。

質問 住民説明会に入る前に、どのような調整をされて住民説明会に臨んだか。

町長 具志頭地域の議員、4自治会の会長、港川悪臭協議会委員の参加のもと意見交換をした。その中で、行政課題を解決するには誘致も良いのではとの意見もあり、特に反対意見もなく進めてきた。その後議員全員協議会での意向を説明した。その中でも特に反対意見はなく、構成3市3町の理事へ誘致の申し入れをし了承いただいた。その報告を全員協議会で報告し南部広域行政組合を主体とする説明会を開催した。

質問 住民説明会の中で賛成、反対の立場の中で懸念することが出ている。合意形成に至るまできめ細かく説明をし、心配事の払拭が大事である。まだ十分説明が行き届いていない。忍耐と体力、誠意をもって対応していかないと建設は破たんすると思う。今後どういう方向で説明会を進めていくか。

町長 環境影響評価の結果を踏まえて住民説明会を行う予定である。

質問 心配されているのは、施設が建設されれば、大気の汚染、悪臭が指摘されている。那覇クリーンセンターへ視察に行ったが、あの周辺の大気のモニタリングの数値的な部分も説明しながら理解に努めていかないと問題解決できないと思うので状況がわかれば伺いたい。

住民環境課長 ダイオキシンの国の基準が1ナノグラムに対し、東部清掃では1号炉、0・24ナノグラム、2号炉で0・003ナノグラム、糸豊清掃で、1号炉0・17ナノグラム、2号炉0・42ナノグラムで基準値以下になっている。

質問 悪臭については地域住民からどういう声が寄せられているか。

住民環境課長 那覇、南風原クリーンセンター、東部、糸豊でも人体に対して影響はないと聞いている。

南部広域最終処分場　美らグリーン南城

所管事務調査報告

総務厚生常任委員会

令和元年7月27日から30日まで所管事務調査をおこなったので報告する。

調査地は、高知県黒潮町・中土佐町・北川村で、調査事項は、デマンドバス・防災・健康づくり。紙幅の都合で、黒潮町のデマンドバスと防災について記す。

黒潮町は高知県南西部に位置し、平成18年3月、佐賀町と大方町が合併して誕生した。当時の人口は14000人、年々減少している。高齢化率は43・3％、中山間地域では最高73％にもなる。自治会は62地域。地域の人々が求めるニーズを把握し、将来に渡って持続可能な公共交通を構築するため、平成22年に地域公共交通総合連携計画を作成した。黒潮町の公共交通は、バスとタクシーの中間のようなものと考えているとのこと。「北郷加持地区」では、1年間の実証運行期間を終えて、平成25年から週3回の運行、利用者は8割が高齢者である。現在「かきせ地区」の実証運行を行なっている。

町にとっても公共交通再編は大きな課題であり、持続可能な交通体系を早期に実現させなければならない。

防災の基本は「一人の犠牲者も出さない」。南海トラフ地震の予測最大津波高34メートルは日本一。町内に諦めの声もあったが、「あきらめない、揺れたら逃げる、より速く、より安全なところへ」の標語で避難放棄者を出さない、という。全地域で防災ワークショップを開催、家庭ごとに「避難カルテ」も作成されている。全地域に役場職員の担当者を配置したことで住民の意識も高くなった。光通信による告知放送端末機は全家庭に設置。世界一高い避難タワー、高台への避難道は213ヶ所整備済みだ。「防災が地域の文化」「福祉と防災がコラボする必要性を感じている」との言葉が印象的だった。

黒潮町の防災タワー

（委員長）新垣　正春

産業経済文教常任委員会

令和元年11月5日から実施した所管事務調査、岩手県紫波町公民連携調査報告、オガールプロジェクトについて報告する。

紫波町、日吉駅への羽柴中央駅新設運動は、乗降客確保のため、駅前10・7haを住宅供給公社より購入し宅地分譲、公共施設を集約する。平成10年3月紫波中央駅開業。基金減、実質公債費率の上昇などから10・7ha塩漬けの土地となる。平成21年2月紫波町公民連携基本計画を策定。同3月議決。

プロジェクト関連組織は、紫波町企画課（公民連携室）、都市計画課、環境課を核とする。

一、**町民**とのワークショップ、事業説明会。

二、**紫波町議会**（特別委員会）事業説明、意見。

三、要求水準と土地賃貸は、**紫波グリーンエネルギー（株）**が整備運営①エネルギーステーション。

四、要求水準と土地賃貸は、**（株）オガール**が整備運営②オガールベース。

五、要求水準と土地賃貸　**紫波シティーホール（株）**整備維持管理運営を③役場庁舎。

六、直接の整備管理運営は、④公共インフラ宅地分譲（オガールタウン）。

七、誘致立地を**岩手県サッカー協会**、整備運営、⑤岩手県フットボールセンター。

八、連携する**オガール紫波（株）**は、連携に岩手県サッカー協会。

八の一、出資委託に**オガールプラザ（株）**整備運営と一部譲渡⑥オガールプラザ。

八の二、出資に**オガールセンター（株）**整備運営⑦オガールセンター。

全てのデザインは、デザイン会議が携わる。成果のオガールエリア全体図を右記する。

（委員長）神谷　秀明

写真提供：岩手県紫波町　©2019 Ogal-Shiwa Inc.
オガールエリア全体図

議員永年表彰

八重瀬町議員団と神谷清一議員（前列向右から３番目）

この度、永年の議員活動が評価され、全国町村議会議長会から、本町議会議員の神谷清一氏（字志多伯）に、表彰状が授与された。

旧東風平町議会議員５期、八重瀬町議会議員を３期務め、現在は４期の２年目に入り、通年33年目を迎えた。

神谷清一議員は、これまでの議員生活を振り返り、「長年の議員活動を支えて頂いた、全ての皆様方に感謝しています。」と感謝の気持ちを述べた。

一部事務組合議会報告

南部広域市町村圏事務組合定例会
令和元年10月21日開催

【議案】

◎平成30年度南部広域市町村圏事務組合一般会計歳入歳出決算
（全会一致認定）

◎平成30年度南部広域市町村圏事務組合ふるさと市町村圏基金特別会計歳入歳出決算。
（全会一致認定）

◎平成30年度南部広域市町村圏事務組合いなせん斎苑特別会計歳入歳出決算。
（全会一致認定）

◎平成30年度南部広域市町村圏事務組合南斎場特別会計歳入歳出決算。
（全会一致認定）

◎令和元年度南部広域市町村圏事務組合一般会計補正予算（第1号）。
（全会一致可決）

◎令和元年度南部広域市町村圏事務組合ふるさと市町村圏基金特別会計補正予算（第1号）。
（全会一致可決）

◎令和元年度南部広域市町村圏事務組合いなせん斎苑特別会計補正予算（第1号）。
（全会一致可決）

◎令和元年度南部広域市町村圏事務組合南斎場特別会計補正予算（第1号）。
（全会一致可決）

第３回島尻消防組合議会
令和元年10月28日開催
（島尻消防組合本部会議室）

【議案】

◎認定第1号　平成30年度島尻消防組合一般会計決算認定について
（全会一致可決）

◎議案第10号　令和元年度島尻消防組合補正予算（第2号）について
（全会一致可決）

◎議案第11号　島尻消防組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
（全会一致可決）

◎議案第12号　島尻消防組合消防団の定数、任免、服務等に関する条例の一部改正について
（全会一致可決）

◎議案第13号　島尻消防組合消防手数料条例の一部改正について
（全会一致可決）

◎議案第14号　島尻消防組合火災予防条例の一部改正について
（全会一致可決）

【一般質問】

米増（八重瀬町）仲間（南城市）宮平（南城市）の３議員。

編集後記

議員になり1年4ヶ月が過ぎた。同僚議員とも切磋琢磨しながら、ただ慌ただしく過ぎた日々。2度目の初日の出を具志頭城址で待つ。成長できたか、貢献できたかとあれこれ思う。思い待つ間に、日の出時間となった。水平線からの日出は見れなかった。残念と言いながら足早に帰る見物客を見送りながら、30分程粘って、雲の切れ間から注ぐ御来光をパチッ！

今年も辛抱強く頑張ろうと決意する。

議会広報常任委員長　玉城義彦

令和２年具志頭城址からの初日の出